

なるほど!

# 特集

## 障がい者の方々がいきいきと暮らすグループホームを知ろう!講座

2時間目

3回にわけて先月より紹介している「障がい者向けグループホーム」。グループホームは共同生活の場で自立した生活が安心・安定したものになるように支援しています。

第2回目の今回は、愛厚弥富の里が運営する「障がい者向けグループホーム」での入居者の皆さんの生活を詳しくのぞいてみましょう!



**階段での運動**  
体力、健康維持に努めています。



**休日の様子**  
休日の過ごし方は、ボーリングや買い物に出かけたり、地域の行事に参加したりします。1人での外出が難しい場合は、移動支援サービス(1)を利用し外出をします。



**趣味の時間**  
趣味の水彩画をたのしんでいます!



**自室の様子**  
グループホームの自室でテレビを見ながらくつろいでいます。(各自に個室の部屋があり、プライバシーが守られています。)



**自室の掃除**  
みんなで当番制でホーム内の掃除も行っています。



**作業所(2)への出勤**  
バスを使って通います。一人で電車通勤する方もいます。



毎日の入浴は世話人などの支援のもと行います。入浴後に自分の衣類を洗濯します。



**食器の後片づけ**  
自分でできることはやっています。居宅介護サービス(3)を利用している方もいます。



**楽しい夕食!**  
みんなで夕食を食べたり、入浴したり自由に過ごします。クリスマス会や入居者の誕生日会などもみんなでお祝いします。

### 用語解説

- (1) 移動支援…社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動支援など、社会参加のための外出の際、ヘルパーが移動を支援します。
- (2) 作業所…障がい者の方が働く場や仲間と集う場として、自主製品の製造販売などを行っています。
- (3) 居宅介護…居宅において入浴・排泄・食事・掃除・洗濯・通院の際の介助などを提供します。

### 12月3日～9日は、「障がい者週間」です。

市内に暮らす約4万5千人のうち何らかの障がいがある方が約2千人います。誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、障がいについての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を作っていきましょう。

最後は、グループホームに入居する前の準備などについてお伝えします。

岡市役所福祉課(内線162)

## やとみの防災!

# 防災・減災について考えよう!

～生命・生活を守るための重要な役割「共助」～

市では地域の皆さんと共に防災・減災について考える「弥富市防災ワークショップ」を開催しております。「ワークショップ」とは、参加者が共同で研究や検索を行う場・機会のことです。

すでに行われた第1回・第2回ワークショップでは自主防災会長、民生児童委員、消防団を中心にたくさんの市民の参加がありました。

## 10.27 第1回ワークショップ(総合社会教育センター)

初回のワークショップは約200の方に参加していただきました。今年のテーマは「共助」ということで、市役所危機管理課より避難所運営マニュアルについて解説し、災害時の避難生活は地域で作らなければならないという点なども説明しました。



また、共助の組織作りについては愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会の東嶋とも子氏によるレクチャーがあり、平時からの自主防災会、民生児童委員や消防団との連携の大切さについて話がありました。

## 各学区開催

### 第2回ワークショップ

学区ごとに皆さんから地域の防災、特に要配慮者に関して取り組んでいることや、知っていること、地域の課題などを話し合いました。自主防災会や民生児童委員、消防団などの皆さんによる、日頃はなかなかできない防災についての情報共有のきっかけとなりました。



### 参加者の声



いろいろな現場の現実を知れてよかった。

勉強になりました。別の地域の方と話す良い機会でした。

地域で防災を考えるグループが必要と感じた。継続して行える訓練が必要だ。

第3回のワークショップは平成30年2月1日(木)に十四山スポーツセンターにて全地域対象で開催いたします。参加者をホームページで平成30年1月上旬から募集します。第1回、第2回の総括的な内容となりますが、防災について考えるきっかけとなりますので、今回参加されなかった方もぜひご参加ください!



岡市役所危機管理課(内線365)